

堀内 一史ゼミナール【経済-23 クラス】

【**題目**】比較社会学演習:アメリカ社会を知る、日本社会を知る

【**到達目標**】現代アメリカ社会や日本社会を多角的な視点から読み解き、その成果を表現する能力を養う。

【**講義内容**】本演習では、つぎの3つの具体的な目標を掲げて、日・米社会に関する基本的な知識を得るとともに、それを他者に伝達する技術を学ぶ。

①「常識」から自分自身を解放するための社会的な視点を学ぶ。

②基礎的な文献を読み、現代日・米社会を歴史、経済、政治、教育、社会、文化など多角的な視点から学ぶ。

③読んだ文献の論点を効率よくまとめる方法、論文の書き方、説得力のあるプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

4年次で卒業論文を執筆することになるが、3年次では、基礎的な文献を読み、卒業論文のテーマや構想を練り上げ、2学期終盤の授業では、中間報告の形で発表してもらう。1学期前半では社会的な考え方を身につける。後半では読み方やまとめ方やプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

前半の授業では、講義⇒討論⇒レポート、後半の授業では、学生による発表⇒質疑応答⇒コメントという流れで行う。

【授業計画】

第1回 導入

第2回 アメリカと宗教

第3回 アメリカの政治と宗教

第4回 アメリカの州制度

第5回 帝国主義とアメリカ

第6回 身を守る権利と銃規制

第7回 アメリカと暴力

第8回 アメリカの司法制度

第9回 アメリカと移民

第10回 アメリカとヒスパニック問題

第11回 アメリカ社会と差別問題

第12回 奴隷制度から人種差別へ

第13回 アメリカと世界経済

第14回 メディアとアメリカ

第15回 オバマ以降のアメリカ

【**教科書**】浅野智彦編著『社会学入門』中経出版、2010年

池上彰『そうだったのかアメリカ』集英社文庫、2011年

【参考文献】

【**評価方法**】授業参加、プレゼンテーション、期末レポート

【**履修の条件**】社会学AB、比較社会論ABを履修していることが望ましい

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】否

【**他学部生受入**】否

【**当該科目に関連する開設科目**】北米社会論AB

【**使用言語**】日本語

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的な好奇心	◎
本質を理解する力	○
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
様々な人と対話する力	○
意志や情報を発信する力	○
自ら行動する力	○
自信を生み出す力	◎